

住民主体のまちづくり

No.43 2017. 7

編集発行：車尾まちづくり推進会議 事務局

■ 東山公園駅で自転車の施錠キャンペーン

鳥取県西部で高校生の利用が最も多いJR東山公園駅の駐輪場で、6月9日（金）午前7時30分から約1時間、通学用の自転車に施錠する啓発活動を米子警察署員3名と住民ボランティア5名で行いました。



制服警官の存在は大きく、施錠の啓発グッズをすべての高校生が受け取り、呼びかけにも応答するなど効果が期待できました。

■ 特殊詐欺被害を防ぐ

地域モデル検証事業（その4）

架空請求詐欺について、全体では「名前も手口も知っている」が66.0%と、事前調査より9ポイント改善し、手口までの理解状況が進んでいることがうかがわれます。

性別では、「名前も手口も知っている」は男性で7割と10ポイント以上改善した。女性も5ポイント改善したが、男性に比べ手口の理解状況に後れがみえます。

年代別では、「名前も手口も知っている」が60代以上で事前調査から改善し、80歳以上では10ポイント増加したが、依然として過半数には届いていません。

50歳未満で100%から13ポイント減少している



点にも注意が必要とされます。なお、「知らない」が50代で11ポイント、80歳以上で4ポイントそれぞれ増加しています。

融資保証金詐欺について、全体では「名前知っているが、手口は知らない」が38.8%、「名前も手口も知っている」33.2%、「知らない」が28.0%と回答が分かれました。いずれの項目も事前調査と大きな変化がみられません。

性別では、「名前も手口も知っている」は男性で4割弱と、7月調査よりも多少改善

しているが、女性は3割弱となって7ポイント減少しています。男女ともに、「知らない」は事前調査から大きな変化はみられません。

年代別では、50歳未満および70代で「知らない」が事前調査から改善、60代で同等ですが、50代および80歳以上では逆に悪化しています。また、50歳未満および50代では「名前も手口も知っている」がそれぞれ19ポイントと、35ポイントも悪化しており、60代以上でわずかながらも改善している状況とは対象的となっています。

